



第497回機振協セミナー

令和7年度機械振興協会経済研究所成果報告
主催：(一財)機械振興協会経済研究所

工場DXにおけるセンサ・ベンダー の重要性の高まり

—欧州オートメーション関連企業現地調査結果—

令和7年度調査研究事業「機械産業のグローバル戦略」において、欧州のオートメーション関連企業の現地調査を行ったところ、オートメーションに使われるセンサのベンダーの重要性を高めるネットワークインフラ (IO-Link、Ethernet-APL) の活用、開発が、欧州の工場DXを進展させる要因の一つとなっていることがわかった。

本セミナーでは、それらのネットワークインフラにおいて、欧州のセンサ・ベンダーが、標準化されたデバイスデータへのアクセス技術を活用して工場DXを推進しているメカニズムなどを紹介するとともに、そのようなグローバルな動きの中で今後日本の機械産業がとるべき戦略などについて検討した結果を、報告する。

<講師>

(一財) 機械振興協会経済研究所 首席研究員

金子 実

<モデレーター>

横河電機株式会社 マーケティング本部 渉外・標準化戦略センター 標準化戦略部

遠藤 太郎 氏

5月19日(火) 13:30~15:00

- WEBシステムによる開催 (Zoom) 事前申込制 (先着100名 参加費無料)
- お申込み方法

URL: <https://forms.gle/4eEKh8LBVxqkyi4AA>

または下記コードよりお申し込みフォームへアクセスし、**5月14日(木)**までにお申し込みください。

受講票は発行いたしません。

受講時にご使用していただく資料およびWEB会議参加証は前日までにメールにてお送り致します。

なお、ご提供頂く個人情報は、当協会セミナー、講演会及び展示会関連等以外に使用致しません。

WEB会議中の画面録画や録画した映像の転載は禁止させていただきます。

